



平成27年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 山加電業株式会社

コード番号 1789 URL <http://www.yamaka.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三森 茂

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼経理部長 (氏名) 中澤 文雄

TEL 03(5957)7661

四半期報告書提出予定日 平成27年8月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第3四半期の連結業績(平成26年10月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第3四半期	2,199	△37.1	△227	—	△168	—	△271	—
26年9月期第3四半期	3,495	22.8	106	—	180	—	157	—

(注) 包括利益 27年9月期第3四半期 △271百万円 (—%) 26年9月期第3四半期 157百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年9月期第3四半期	△42.68	—
26年9月期第3四半期	24.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
27年9月期第3四半期	2,805	1,803	64.3	283.22
26年9月期	2,788	2,100	75.3	329.77

(参考) 自己資本 27年9月期第3四半期 1,803百万円 26年9月期 2,100百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年9月期	—	2.00	—	2.00	4.00
27年9月期	—	2.00	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	4.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年9月期期末配当金の内訳 普通配当2円00銭 設立80周年記念配当2円00銭

3. 平成27年9月期の連結業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	4,675	12.1	134	123.4	153	7.4	117	△15.0	18.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年9月期3Q	6,375,284 株	26年9月期	6,375,284 株
27年9月期3Q	6,201 株	26年9月期	6,201 株
27年9月期3Q	6,369,083 株	26年9月期3Q	6,369,083 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	2
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
（1）四半期連結貸借対照表	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（セグメント情報等）	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、政府の積極的な経済政策や金融緩和政策を背景に、企業収益の改善や雇用環境が改善傾向にあるなど、景気は緩やかな回復基調が続いております。

建設業界におきましては、公共投資、民間設備投資共に比較的堅調に推移しておりますが、資材価格や労務費が引き続き高騰傾向であったことから、不透明な経営環境が続いています。

このような状況の中、当社グループは工事量と利益確保の経営方針を継続し、新規顧客開拓を積極的に推進する一方、工事採算の改善や経費の削減に努めてまいりました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の受注高は、26億7千7百万円（前年同四半期比108.4%増）、売上高は21億9千9百万円（前年同四半期比37.1%減）となりました。利益につきましては、経営の効率化を推進し、工事原価低減等の収益向上に努めましたが、売上高の減少により、営業損失は2億2千7百万円（前年同四半期は1億6百万円の営業利益）、経常損失は1億6千8百万円（前年同四半期は1億8千万円の経常利益）となりました。また、四半期純損失は、連結子会社元役員の不正行為疑惑による損失を計上した影響により、2億7千1百万円（前年同四半期は1億5千7百万円の四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(電気工事業)

電気工事業については、民間工事の受注高は堅調に推移したものの、電力事業案件の着手時期のずれ込みと、営業停止による公共工事及びモバイル工事の受注等が減少したことにより、当第3四半期連結累計期間の受注高は26億7千7百万円（前年同四半期比108.4%増）、売上高は16億2千万円（前年同四半期比42.4%減）、セグメント損失（営業損失）は2億3千3百万円（前年同四半期は8千4百万円のセグメント利益）となりました。

(建物管理・清掃業)

建物管理・清掃業については、価格競争が激しい環境下にあり、大規模修繕工事等の受注高及び売上高の減少により、当第3四半期連結累計期間の売上高は5億7千9百万円（前年同四半期比14.9%減）、セグメント利益（営業利益）は5百万円（前年同四半期比73.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1千6百万円増加し、28億5百万円となっております。また、負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億1千3百万円増加し、10億1百万円となっております。純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億9千6百万円減少し、18億3百万円となっております。

資産の増加の主な要因は、受取手形・完成工事未収入金等1億2千4百万円の減少、未成工事支出金5千5百万円の減少及び繰延税金資産4千4百万円の減少もありましたが、現金預金2億5千5百万円の増加によるものであります。

負債の増加の主な要因は、工事損失引当金3千9百万円の減少もありましたが、短期借入金1億円の増加及び未成工事受入金2億6千5百万円の増加によるものであります。

純資産の減少の主な要因は、利益剰余金2億9千7百万円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月期の通期の連結業績予想については、今後の完工、受注予測を踏まえた結果、「業績予想の修正に関するお知らせ」（平成27年4月30日付）から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,091,601	1,346,916
受取手形・完成工事未収入金等	437,148	313,069
未成工事支出金	125,939	70,283
繰延税金資産	46,270	1,620
その他	20,675	62,179
貸倒引当金	△5,357	△11,142
流動資産合計	1,716,278	1,782,926
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	440,392	442,151
機械・運搬具	347,198	350,941
工具器具・備品	276,962	282,465
土地	359,351	359,351
減価償却累計額及び減損損失累計額	△813,100	△866,999
有形固定資産合計	610,804	567,910
無形固定資産		
のれん	246,056	219,067
その他	10,094	9,433
無形固定資産合計	256,151	228,501
投資その他の資産		
投資有価証券	181,246	204,513
長期貸付金	335,000	335,000
繰延税金資産	620	217
その他	37,501	46,958
貸倒引当金	△349,150	△360,879
投資その他の資産合計	205,217	225,809
固定資産合計	1,072,173	1,022,221
資産合計	2,788,451	2,805,147

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	165,892	213,920
短期借入金	100,000	200,000
未払法人税等	17,866	7,745
未成工事受入金	47,678	312,786
賞与引当金	29,705	8,430
工事損失引当金	41,505	2,327
完成工事補償引当金	1,080	520
損害賠償損失引当金	—	37,000
その他	154,350	98,221
流動負債合計	558,079	880,951
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	8,327	7,555
退職給付に係る負債	116,964	111,116
その他	4,727	1,688
固定負債合計	130,019	120,360
負債合計	688,098	1,001,311
純資産の部		
株主資本		
資本金	989,669	989,669
資本剰余金	821,016	821,016
利益剰余金	466,583	169,293
自己株式	△1,900	△1,900
株主資本合計	2,275,368	1,978,078
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△175,015	△174,243
その他の包括利益累計額合計	△175,015	△174,243
純資産合計	2,100,353	1,803,835
負債純資産合計	2,788,451	2,805,147

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
売上高		
完成工事高	2,815,155	1,620,624
不動産管理売上高	680,078	578,748
売上高合計	3,495,234	2,199,372
売上原価		
完成工事原価	2,342,294	1,462,124
不動産管理売上原価	470,850	379,726
売上原価合計	2,813,145	1,841,851
売上総利益		
完成工事総利益	472,860	158,499
不動産管理売上総利益	209,228	199,021
売上総利益合計	682,089	357,521
販売費及び一般管理費	575,479	585,305
営業利益又は営業損失(△)	106,609	△227,784
営業外収益		
受取利息	96	170
貸倒引当金戻入額	4,500	—
持分法による投資利益	67,355	60,266
その他	4,572	2,858
営業外収益合計	76,525	63,296
営業外費用		
支払利息	1,681	3,616
手形売却損	—	77
支払保証料	—	503
その他	715	8
営業外費用合計	2,397	4,205
経常利益又は経常損失(△)	180,738	△168,692
特別損失		
電話加入権評価損	62	15
損害賠償損失引当金繰入額	—	37,000
特別損失合計	62	37,015
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	180,675	△205,708
法人税、住民税及び事業税	22,966	21,050
法人税等調整額	—	45,053
法人税等合計	22,966	66,104
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	157,709	△271,813
四半期純利益又は四半期純損失(△)	157,709	△271,813

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失(△)	157,709	△271,813
その他の包括利益		
土地再評価差額金	—	771
その他の包括利益合計	—	771
四半期包括利益	157,709	△271,041
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	157,709	△271,041
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	電気工事業	建物管理 ・清掃業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,815,155	680,078	3,495,234	—	3,495,234
セグメント間の内部 売上高又は振替高	60	677	737	△737	—
計	2,815,215	680,755	3,495,971	△737	3,495,234
セグメント利益	84,813	20,092	104,905	1,704	106,609

(注) 1 売上高の調整額△737千円及びセグメント利益の調整額1,704千円は、セグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「建物管理・清掃業」セグメントにおいて、管理業務受託事業を譲り受けております。これによる当第3四半期連結累計期間におけるのれんの増加額は、35,000千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年10月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	電気工事業	建物管理 ・清掃業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,620,624	578,748	2,199,372	—	2,199,372
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	498	498	△498	—
計	1,620,624	579,246	2,199,870	△498	2,199,372
セグメント利益又は損失 (△)	△233,034	5,235	△227,799	14	△227,784

(注) 1 売上高の調整額△498千円及びセグメント利益又は損失 (△) の調整額14千円は、セグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。